岩手県田野畑村 ＆ 早稲田大学
地域連携スタディツアー2026

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おススメのポイント！

- 観光・地域活性化・地域資源・情報発信に関心のある学生におすすめ。
- 「観光客が半減する冬」という村のリアルな難問に、学生らしいアイデアで挑む実践型プロジェクトです。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

テーマ

冬の田野畑村満喫滞在プランを提案せよ！

岩手県田野畑村は人口約 2,700 人の農山漁村です。田野畑村には「北山崎」、「鵜の巣断崖」などの三陸の雄大な自然景観や、食、体験型の観光プログラムを目当てに多くの観光客が訪れます。しかし冬季になると観光で訪れる方が夏季の半分程度に減少します。村一番の体験プログラムである「北山崎サッパ船アドベンチャーズ」も知床遊覧船事故を受けた法改正により、冬季間の運航が見通せない状況です。村の降雪量は比較的少ないため、冬でも「みちのく潮風トレイル」で迫力ある海岸美を楽しむことができますが、知名度が低いこと、効果的な誘客が出来ていないことが課題となっています。沿岸部には周辺でも有数の規模を誇る「ホテル羅賀荘」がありますが、三陸を周遊する目的の宿泊客が多く、村内に滞在する時間は長くないのが現状です。

そこで皆さんには、冬の田野畑村の新しい観光プランや情報発信のアイデアを提案していただきます。誘客増加はもちろんのこと、関係人口(移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様にかかわる人々)の増加にもつなげられればと思います。早大生ならではの柔軟な提案を期待しています。

田野畑村の魅力

田野畑村は、岩手県沿岸北部に立地する臨海型の農山漁村です。漁業や酪農が盛んで、海産物や乳製品が自慢です。沿岸部には、(公財)日本交通公社による観光資源評価の「自然資源 海岸・岬の部」で特 A 級の評価を受けた景勝地「北山崎」をはじめとする絶景が広がり、それらの海岸美を現役漁師のガイドで巡る「サッパ船アドベンチャーズ」などの体験型観光も盛んです。





募集概要

実施期間	2027年2月9日（火）～2月12日（金）
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず） （留学生の場合は、日本語でのヒアリング、グループワーク、プレゼンテーションに対応できることを条件とする）
募集期間	2026年11月2日（月）～11月15日（日）23：59 [厳守]
応募条件	①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出、②現地3泊4日の全日程に参加、③終了後に期限内にレポート提出、**以上、3点を確約できる者**。
募集人数	10名　※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	①　12月に2回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ②　現地実習参加（最終日の成果報告会でチームによるプレゼンテーション） ③　終了後にレポート提出
応募方法	① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2026 春編」を検索 ②「地域連携スタディツアー2026 春編応募フォーム」から「申請」をクリック ③ 必要事項（志望理由など）を入力して申請　　※申請完了を確認してください
選考方法	書類選考：結果通知は**2026年11月27日（金）までに申込時に記入したメール**にて通知します。 ※この日程前であっても、ご連絡することがありますので、よくメールを確認するようにしてください。また、当選者には、メールにて参加の意思確認をします。返信がない場合は無効になりますのでご注意ください。
注意事項	① 本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。 ② 2027年2月9日から12日の現地実習は、現地集合・現地解散で、**往復交通費は自己負担**です。 ＜交通費目安＞東京駅～田野畑駅 片道 17,800円（新幹線／指定席）。また、東京・宮古の深夜バスを利用すると片道11,000円程度（時期によって金額が変動するので自分で確認） ③ 参加者が現地で負担する費用は、宿泊3泊6食で計24,000円のほか、昼食の実費です。 ＜宿泊場所＞ホテル羅賀荘　〒028-8403 岩手県下閉伊郡田野畑村羅賀60－1 ④ ただし、全プログラムを修了して 1 単位相当に認定された人は、**田野畑村から、往復交通費、宿泊費、現地活動費（食費除く）の約半額（上限3万円程度）を補助**していただけることになりました。 ⑤ 現地での移動は、田野畑村役場からご支援をいただきます。 ⑥ 現地では、本学教員と田野畑村職員が引率します。 ⑦ 現地実習の途中からの参加や早退は認められません。 ⑧ 現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑨ 参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑩ 早稲田大学の学生補償制度（損害補償・賠償責任補償）に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑪ 【重要】本スタディツアーに参加が決定した場合、11 月に募集予定の地域連携ワークショップ、および、企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑫ 本スタディツアーでは田野畑村、早稲田大学がインスタグラム等公式 SNS を含む広報活動の目的で写真・映像を撮影することがあります。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑬ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバルエデュケーションセンター　准教授　加藤基樹（motokato@waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

現地実習のスケジュール（予定）

2月9日(火)	13:23	現地集合(三陸鉄道リアス線田野畑駅)
	14:00	現地視察@鵜の巣断崖
	15:00	村職員等ヒアリング(観光関係)@田野畑村役場
	17:00	ホテル羅賀荘チェックイン・夕食・班別学習
2月10日(水)	9:00	みちのく潮風トレイル体験(弁天崎灯台)
	11:00	番屋料理体験(昼食) 体験村・たのはたヒアリング 番屋見学等
	14:00	現地視察@北山崎、明戸等
	17:00	夕食・班別学習@ホテル羅賀荘
2月11日(木)	9:00	班別学習@ホテル羅賀荘
	12:00	昼食@北川食堂
	13:00	班別学習@ホテル羅賀荘
2月12日(金)	9:00	成果報告・意見交換会@田野畑村役場
	11:30	昼食・買い物@道の駅たのはた　思惟の風
	12:40	現地解散(三陸鉄道リアス線田野畑駅) （参考）12:57 宮古行き発

※天候や訪問先のご都合の状況によって、変更が生じる場合があります

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、２単位相当を要件としています。
本スタディツアーは１単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で実施しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。